



吉田実業株式会社  
YOSHIDA JITSUGYO Co., Ltd.



選別機（加古川事業所）

- 本社所在地：神戸市西区福吉台二丁目8番地の13
- 事業概要：産業廃棄物収集運搬処分に関する業務、リサイクル業務、家屋解体工事業務、建物美装工事業務
- 常時使用する従業員：55名（2024年8月期）
- 現在の売上高：19億円（2024年8月期）
- 法人番号：6140001005499
- Web：https://yoshidajitsugyo.com

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
吉田 信彦

## 事業を通じて「循環型社会」の実現を推進します

吉田実業株式会社では、地球環境の保全が経営の最重要課題の一つと認識しており、事業活動を通じて可能な限りの資源を回収・リサイクルし、廃棄物の減量化に取り組むことで、サプライチェーン全体で循環型経済の実現を目指しています。

更に持続可能な資源利用を促進するために積極的な設備投資を行うと共に、地元での雇用を創出し、地域経済の活性化に貢献してまいります。環境保全における地域のリーディングカンパニーとなるべく、売上100億円達成を目指します。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

新たな中間処理施設の建設や稼働効率の向上、廃棄物の再資源化に資する設備の導入、新たな商材の製造販売、M&Aによる同業者の買収等により、年平均20%程度の成長を維持し、2034年度の売上100億円を目指していく。

### 課題

- ・既存中間処理施設の受入許容量が限界に近く、新たな処理施設が必要
- ・施設拡大に伴う人材確保（現場、運転手）
- ・選別作業の自動化・省人化および処理能力の最大化
- ・新商材の販路獲得

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- 売上高100億達成のために以下の手段を講じる。
- ・新たな中間処理施設の建設（24時間稼働可）
  - ・稼働時間の延長および受入品目増加による処理能力の向上
  - ・製鋼副資材（エコマイト）の製造設備導入および同資材の販路拡大
  - ・有価販売可能な資源の回収量増加
  - ・M&Aによる事業規模拡大
  - ・焼却炉、最終処分場の保有

### 実施体制

- ・社長、専務が全社的な戦略遂行を指揮し、工場、営業、運搬、事務、経理の各部門および各事業所が、常に連携することで、事業を展開していく
- ・24時間稼働可能な中間処理施設建設に伴い、2交代制勤務を導入。人材については地域での採用を行うと共に、管理責任者の育成を行う
- ・M&Aについては、取引金融機関および外部専門コンサルに協力を要請

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置（補足）

2034年度の売上高100億円達成を目指し、以下の具体的措置を講じてまいります。

### 1. 処理能力の拡大

- 兵庫県小野市に新たに中間処理施設（新工場）を建設し、産業廃棄物の受入および処理能力を大幅に向上させる
- 新工場では24時間稼働を実現することで、処理能力を現在の2倍程度にまで向上させる
- 2交代制勤務を導入することで新規雇用が必要となるが、人材については地域での採用を行うと共に、管理責任者の育成を行うことで管理体制を強化する

### 2. 製鋼副資材（エコマイト）の製造・販売

- 新たな事業として、エコマイトの製造・販売を実施する
- エコマイトの製造設備を新たに導入することで、廃プラスチック等を自社にて新たな商材として製造・販売することが可能となり、新たな収益源として売上増加を図っていく
- リサイクルが困難な廃プラスチック等の再資源化も可能であり、売上増加とともにサプライチェーン全体で循環型経済の促進に貢献していく

### 3. M&Aによる事業拡大

- 将来的に環境規制の強化、サステナビリティの観点から、産業廃棄物処理業界は更なる成長が見込まれる。一方で本業界への新規参入障壁は高く、M&Aが活発になる可能性が想定されるため、当社においても積極的な情報収集に努め、新工場の事業が落ち着く2030年度以降に、同業種のM&Aを中心に可能性を模索していく

### 4. 焼却炉・最終処分場の保有

- 産業廃棄物の回収・中間処理から最終処分までの一貫処理を可能とすることで、新規取引先を獲得し、売上増加・安定基盤の獲得を目指していく

## 売上高



100億  
達成